

〔 特 集 〕

子どもと不安

コロナ禍、メディアから流れてくる戦争の画像、円安と物価高が家庭に与える影響など、近年の私たちの生活の周りには、大人も子どもも不安になることが溢れています。特に新型コロナウイルス感染症拡大下の生活では、人とかかわると感染するのではないか、休校の間に勉強が遅れていくのではないか、学校に戻った後に友だちができるのか、など子どもたちの周りにいくつもの不安が渦巻いていました。このように考えると、不安は子どもにとってまるで百害あって一利なし、のように感じます。しかし、そうではありません。不安は私たちが生きていくうえで欠かせないものです。草食動物は肉食動物から襲われる不安を感じ、わずかな気配も察しなければ生き延びることはできません。人間もかすかな異臭や角を曲がってくる車の音に気づくことで、危険から逃れることができるのです。

本特集では、不安がなぜ存在するのか、不安のもつ意味から始め、さまざまな場面における不安やその対応を取り上げました。普段、「子どもの不安を取り除く」ことは金科玉条のように考えがちですが、「子どもにとって不安とは何なのか」を考えていただく一冊となれば幸いです。

(関西医科大学総合医療センター小児科／石崎優子)

